

一九二一年三月一日第一回自治村議會議臨時会、村政所會議並上招
集の事

一 出席議員の次の通りある

| 議席氏名 | 議席氏名 | 議席氏名 |
|----------|----------|----------|
| 一番 仲村春山 | 九番 米須清祐 | 五番 天久盛雄 |
| 四番 佐喜真模祐 | 二番 仲本心重 | 六番 当山伊太郎 |
| 九番 中山勝豊 | 一〇番 花城清喜 | 七番 野島盛信 |
| 六番 宇屋良朝 | 一〇番 中里幸助 | 八番 稻嶺密三 |
| 七番 崎岡健郎 | 一〇番 松本利直 | 九番 岩重敏行 |
| 八番 知花心大 | 四番 山本朝徳 | |

一 不出席議員のなし

一 出席議員は出席議員と同じである

一 欠席議員のなし

一 市町村自治法第百一十條の規定に於て會議事件説明の出席
しは次の通りある

村政 仲村春勝 財政 吳屋真徳 收入 仲村春松
 財政課 当山心重 経済課 澤崎幸一 建設課 宇屋良朝
 水道課 奥中野俊

一 本會議の書記の次の通りある

書記 松川心義 書記 熊屋敬 書記 伊佐心義

議事日程の通りである

日程第一 議案第七号 一九六一年度富野村歳入歳出追加算案について

日程第二 議案第八号 土木工事請負契約の結ぶことについて

一 会議の顛末

議長 出席一名のみである。市町村自治法第九十條の規定に

より議会は成立致さず。只今別第一回富野村議会

臨時会を開会致す。(午後一時五分)

会期にかゝる諸君致す。

一七番 兼中が五分の七本日一日に決す。

議長 只今会期一日の御意見のありやうが御異議ありやうか。

異議五レロ乎がかりあり

御異議の五レロの会期は本日一日間に致す。

会議録署名議員の決定方法にかゝる諸君致す。

会議録署名議員の議定指名とすに御異議ありやうか。

異議五レロ乎がかりあり

御異議の五レロの議長指名に致す。

四番 佐野真模様 八番 稻嶺盛三の御内議あり願

ひ致す。

この日程に入ります。

日程第一 議案第七号 一九六一年度富野村歳入歳出追加算案についてと提致す。

予算にかゝる上提致す。

書記にて朗読をいたします。

議長 提案者の説明を求めます。

村長 議会議員の本土視察人員が決り、尚議会費の方を保障のある
 の人への旅費に繰り入れ、支出の...と思つて提案致しております。
 のへ首にお願ひ致します。

議長 質疑を願ひます。

一五番 議員の本土視察費は、一人当りの額ほどの位見積つて、

議長 暫休懇致をいたします(午前一時五十分)

〃 再開致をいたします(午前一時十分)

一六番 一頃一月の部へ変更給の145ドの減に、これの説明願ひます。

松川 時期的に予算があるとの見込み、又休職の仕方の方を
 含めての減である。

一七番 村長の旅費は市町村会から出ると思ひますが、議員の場合も
 行政の所務目的とあるとの見込み、同額を出せば、かつどの
 財源があるか、やうにあらうか。

松川 議会費そのものは、提案権は村長にあるが、その要求が議会
 にあるとの見込み、その裏の問題である。

一八番 出来れば議会に議会費をやつては、との見込み、...

松川 対外的な提案費は、村の交際費からやれば、と思ひますが、

議長 八番議員の出席を報告す。

〃 暫休懇致をいたします(午前一時五分)

| | |
|----|--|
| 議長 | 再開致し可す(午前一時五五分) |
| 九番 | 質疑打切りの動議を提出致し可す。 賛成の平ぶりがあり |
| 議長 | 只今の動議は新色の賛成者がありおれぬので、成を致し可す 可しが名称取崩しをいかにお話し致し可す。 異議の平ぶりがあり。 |
| " | 即異議がホいの心 質疑を打切し可すに致し可す。 |
| " | 暫休致し可す(午前一時五十分) |
| " | 再開致し可す(午前二時一十分) |
| " | 討論を願います。 |
| 九番 | 原案に賛成はあり可す 自治体村の場合は都市的形態帯に あり、先進地の都市計画、各地行政運営を種差すに可す 本村の町の発展性があると思ひ可す。 議会費から削減するのはどうも思ひ可す。予算と細工場 合の財源を見過しえ組んかもし可す。要理致し可す |
| 議長 | 討論を打切らば。 異議の平ぶりがあり |
| " | 即異議がホいの心 討論を打切し可すに致し可す |
| " | 心の議事案、早急年度自治体村歳入歳出の算下 かに表決に付し可す |
| " | 原案に即異議ありせん。 |

異議の無い平がわあり

議長 即異議の無い議案第一号ノ本年度自野澤村歳入歳出追加
更正予算に付て原案通り可決を定致し可す

〃 附議の致し可す只今議案第八号(土木工事請負契約の結ぶに
付て)が緊急事件に付てあり可す。即検討願ひ可す

〃 日程に追加せらるる即異議あり可す

異議の無い平がわあり

〃 即異議の無い日程追加せらるる決定致し可す

〃 本議案第八号土木工事請負契約の結ぶに付て可決を
定致し可す

書記にて朗読せしめ可す

〃 提案者の説明を願ひ可す

村長 政府からの補助金が来り更正致し可るが、此等公入額に付て
はが落札出来ず可るが、緊急事件に付て振舞ひあり可るを定
む可るを願ひ致し可す

建設課長 指名中の八名にあり可るが、その結果の次の通り可る

利根川倉庫建築工事(設計額2,250,000)に付て

伊佐真入 2,220,000 多和田真方 2,350,000

新垣榮徳 2,250,000 伊藤長建 伊吉英 伊田昌俊

伊那朝清 伊那朝平 伊那朝平の兼取に最低の新組組(2,250,000)

とあり可る

○ 麻葉下地用(大野名)柳水路工事(設計額 2,550千円)に対し
 片作真人 2,700千円 多和田真才 2,620千円 新垣徳栄
 2,700千円 仲吉吉英 3,400千円 玉那覇清敏 2,700千円
 仲宗根長建 玉那覇年彦が棄権し最低の多和田組(2,620)
 千円を割り出す。

○ 片作地内の道路改修工事(設計額 4,170千円)に対し
 片作真人 4,300千円 多和田真才 4,300千円 新垣徳栄
 4,200千円 沢田昌俊 棄権 玉那覇清敏 4,330千円
 玉那覇年彦が棄権し最低の新垣組(4,200千円)を割り出す。

○ 志真志道路復旧工事(設計額 2,980千円)に対し
 片作真人 4,300千円 多和田真才 4,180千円 新垣徳
 栄 4,500千円 仲宗根長建 玉那覇年彦が棄権 仲吉吉英
 4,600千円 沢田昌俊 4,000千円 玉那覇清敏 4,200千円
 し最低の沢田組(4,000千円)を割り出す。

議長 大伴真司の力があるから有りますが質疑は打切ります。
 質疑は10分がかりあり。
 " 即興議の是非の認め質疑は打切ります。
 " 討論は預ります。
 " 提案の即興議ありませぬ。
 質疑は10分がかりあり。
 " 即興議の是非の議事初等土木工事請負契約を結ぶこと

加を原案通り可決の案にす

この案の第一回臨時議案臨時会を認るべしに就て

皆務には長時間にわたり慎重に所着議案の預り紙にあ

りかたを記すべし

閉会(午後一時)

会議の次第の書記の記載に加入し内容の正確なることを記

すべし

| | |
|--------|----------|
| 臨時議案議員 | 山岡 伊一郎 |
| 議長 | 佐野 真 慎 祐 |
| " | 裕 茂 啓 三 |